

平成31年度

わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～



はじめに

本年4月30日に平成という時代が幕を下ろします。
平成という時代には東日本大震災をはじめ、大きな自然災害もございました。
また、世界でも類を見ないほどの速さで進む人口減少と少子高齢化など、我が国における大きな転換期とも言える時代でありました。
このような急激な人口減少・少子高齢化の進展により、地方においては、地域コミュニティの存続危機、若者の減少による地域産業の担い手や、後継者の不足などといったこれまで経験しなかった新たな課題も生まれております。
今、市政の舵取りを担う我々の使命は、次の世代に負の遺産を残さず、「夢」を実現させるための基盤づくりを進めることです。これまでの慣行、既存の概念などにとらわれず、真に必要とされる政策に財源を充て、子どもから若者、高齢者、そして、外国人、LGBTなど、世代、人種、性別にかかわらず、「自分の持つ能力を発揮できるまち」を目指し、地域の様々な力を集結しながら、新たな時代に向けた取組みを進めてまいります。

限られた貴重な財源を有効活用するため、「ライフステージに応じた笠間暮らしの構築」を重点課題として設定し、笠間市第2次総合計画と笠間市創生総合戦略に即した75事業を重要事務事業としました。
また、効率的で実効性の高い行政運営のため、25事業の廃止・統合、27事業の見直し、6事業の外部委託など、ビルド・アンド・スクラップを図りながら、様々な課題に対する新たな取組みを積極的に進めてまいります。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成31年3月

笠間市長 山口伸樹

目次

I	予算の概要	1
II	重要事務事業	2
III	重要事務事業一覧	9
IV	各会計の予算額	11
	一般会計	11
	国民健康保険特別会計	13
	後期高齢者医療特別会計	13
	介護保険特別会計	14
	介護サービス事業特別会計	14
	農業集落排水事業特別会計	15
	公共下水道事業会計	15
	病院事業会計	16
	水道事業会計	17
	工業用水道事業会計	17
V	事業スクラップにより廃止等を行う事業	18
VI	笠間市の財政状況について	20
VII	基金の状況	21
VIII	市債の状況	23
IX	合併特例債の使い道	25
X	公営企業会計の収支について	26

I. 予算の概要

平成31年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は539億2,392万5千円であり、前年度と比較すると13億994万9千円（2.5%）の増となっています。

一般会計の12億2,000万円（4.1%）の増と病院事業会計の3億4,475万7千円（40.4%）の増が主な要因となっています。



笠間のいな吉®

【平成31年度会計別予算状況】

(単位：千円,%)

会計名	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	30,770,000	29,550,000	1,220,000	4.1
特別会計	15,811,000	16,212,000	▲ 401,000	▲ 2.5
国民健康保険特別会計	7,601,000	8,234,000	▲ 633,000	▲ 7.7
後期高齢者医療特別会計	844,000	805,000	39,000	4.8
介護保険特別会計	6,532,000	6,381,000	151,000	2.4
介護サービス事業特別会計	22,000	18,000	4,000	22.2
農業集落排水事業特別会計	812,000	774,000	38,000	4.9
企業会計	7,342,925	6,851,976	490,949	7.2
病院事業会計	1,197,374	852,617	344,757	40.4
収益的支出	1,127,511	838,472	289,039	34.5
資本的支出	69,863	14,145	55,718	393.9
水道事業会計	2,197,000	2,299,912	▲ 102,912	▲ 4.5
収益的支出	1,712,300	1,768,574	▲ 56,274	▲ 3.2
資本的支出	484,700	531,338	▲ 46,638	▲ 8.8
工業用水道事業会計	70,615	28,915	41,700	144.2
収益的支出	28,873	28,915	▲ 42	▲ 0.1
資本的支出	41,742	0	41,742	-
公共下水道事業会計	3,877,936	3,670,532	207,404	5.7
収益的支出	1,844,109	1,860,283	▲ 16,174	▲ 0.9
資本的支出	2,033,827	1,810,249	223,578	12.4
合計	53,923,925	52,613,976	1,309,949	2.5

いな吉メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業をする時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計

Ⅱ. 重要事務事業

2019年度は、「ライフステージに応じた笠間暮らしの構築」を重点課題として掲げ、持続する笠間暮らしの構築に向け、社会の変化に対応する抜本的な仕組みの改革も視点としながら、公民連携による人材の育成、確保及びサービスの質的充実を図っていきます。

◆ 笠間市第2次総合計画2017-2026 文化交流都市 笠間 ～未来への挑戦～

- 第1章 都市基盤 ①活発な交流と拠点機能の強化により活力あふれるまちをつくります
②快適で安らぎに満ちた、住みよいまちをつくります
- 第2章 生活環境 ①安全・安心に暮らし続けることができるまちをつくります
②豊かな自然と環境を守り、美しいまちをつくります
- 第3章 健康・福祉 ①子どもを産み育てやすい環境を整えます
②だれもが健やかに生活できる保健・医療制度を整えます
③相互に支え合い、優しさと心が通いあう地域をつくります
- 第4章 産業 ①新たな活力の創造と力を生かせる環境を整えます
②地域の誇りに満ちた活力ある産業をつくります
- 第5章 教育・文化 ①未来を拓く子どもを育みます
②心身ともに健やかな人を育み、生涯にわたり学習できる環境を整えます
- 第6章 地域づくり ①多様な主体が力を発揮し、つながり、暮らし続けることができる地域をつくります
- 第7章 自治体運営 ①スリムで効率的な自治体運営を目指します

◆ 笠間市創生総合戦略

- 人口減少の抑制と「笠間らしさ」の確立
- 「ひと・もの・まち」による都市モデルの確立

◆ 2019年度 重点課題

ライフステージに応じた笠間暮らしの構築
～仕組み改革による課題解決～

- 世代に応じた支援策の充実(ひと)
- 文化を継承する産業支援の展開(もの)
- 人の活躍と産業の成長を促進する場の創出と再生(まち)

◆ 2019年度 重要事務事業

新規	19事業
拡充	16事業
重点継続	40事業
事業数：75事業	

○主な重要事務事業

【 都市基盤 】

「道の駅」整備の推進

拡充

高速バスを使った首都圏からの観光客の取り込みや、観光情報発信・レンタサイクルの活用を図るなど、笠間のゲートウェイとしての役割を担う整備を進めます。また、笠間ならではの地場製品の提供により地域経済の活性化・地域産業の好循環を目指します。



857,583千円

畜産試験場跡地の利活用促進
(利活用促進・多目的広場の整備)

新規

○多目的広場 基本計画図

市民の憩いの場となる多目的広場として活用するため、実施設計や進入路等の整備など供用開始に向けた取り組みを進めます。

整備予定面積：3.1ha

施設概要

- 多目的広場ゾーン：芝生広場
- 遊びのゾーン：複合遊具等
- 多世代交流ゾーン：交流広場・エントランス広場



209,891千円

安居工業地域の整備
(整備推進支援業務)

拡充

恵まれた交通利便性を生かして、工業系の土地利用を中心に多様な産業の立地誘導を促進する基盤整備に向けた測量・調査を行います。

19,012千円

友部駅周辺の道路景観構想の検討及び策定
(無電柱化の促進・道路景観の向上)

拡充

友部駅周辺の良好な景観形成を図るため、茨城県と共に無電柱化事業を実施します。

8,500千円

【生活環境】

消防団の支援

一部
新規

地域防災の中核として活躍する消防団に対する支援を行い、消防団への加入促進を図り地域防災力の向上に努めます。

- 消防団詰所の更新
- 消防ポンプ自動車の更新
- 活動服及び装備品の充実
- 「消防団応援の店」の展開
- 消防団員支援組織モデル地区の構築

消防団詰所の
更新建設

消防ポンプ自動
車の更新配備

消防団の
支援

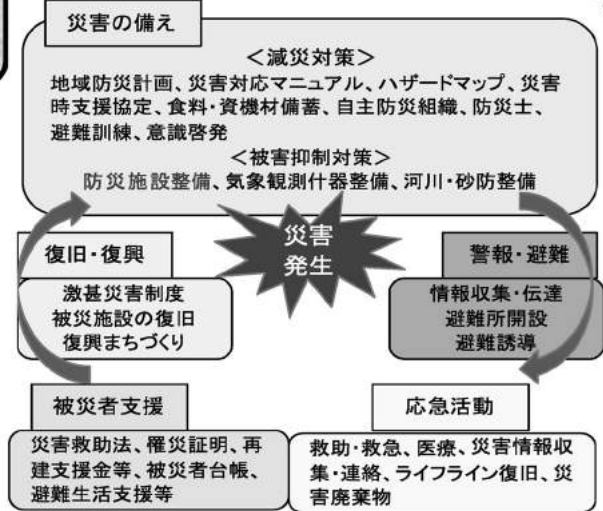
消防団をサポートする組織の
設立及び消防団応援の店の展開

72,967千円

防災機能強化に向けた
防災設備の整備

新規

災害による停電対策として拠点避難所の設備強化を図ります。また、大規模災害時の通信手段である衛星携帯電話の通信強化を行います。



11,618千円

【健康・福祉】

「地域医療センターかさま」の機能強化

拡充

地域医療センターかさまにおいて、多職種による連携・協同体制の機能強化をし、地域完結型の医療・保健・福祉の包括ケアを推進します。

- 地域医療センターかさま病児保育
- ファミリー健康体験
- メディカルカフェ、講演会の開催
- プレコンセプションケア



15,016千円

妊娠・出産～子育て期に
おける切れ目ない支援

一部
新規

これからの笠間市を担う子供たちが、健やかに成長できるよう子育て世代に対し切れ目ない支援を行います。

- 特定不妊治療費助成
- 各種健康診査・相談
- 産後ケア・産前産後サポート
- 食育
- 在宅子育て支援【新規】
(託児付き講座の開催)
- 病児保育



97,061千円

子育て世帯の費用負担の軽減 **拡充**

マル福制度の対象外である中学生の外来分及び受診時に支払った自己負担金（中学生・高校生は除く）を助成します。また、ロタウイルス、おたふくかぜ、風しんの接種費用の一部助成を新たに実施します。

676,021千円

保育の質の向上

**一部
新規**

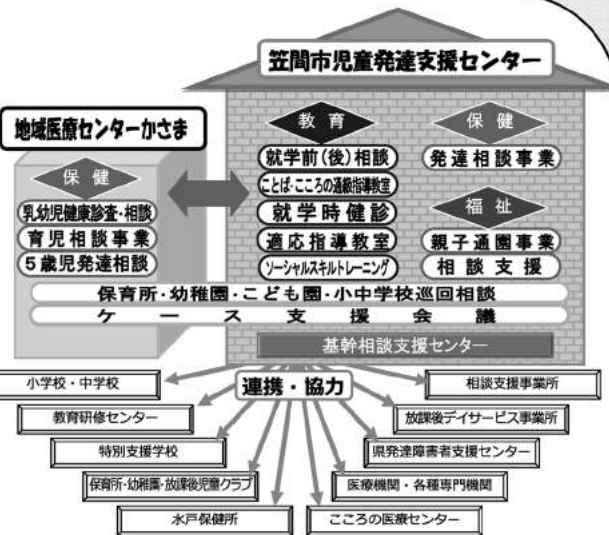
保育士不足解消のため、保育士の資格を有し、市内保育所等へ新たに就労するための支援を行います。また、保育環境の向上のため、備品購入等の支援及び保育補助者の雇用等の支援を行います。

12,289千円

ソーシャルサポート強化事業
（支援の届きにくい方への支援）

**一部
新規**

様々な悩みや問題を抱えた人々が必要な支援が受けられるよう総合的な支援体制を検討します。
また、発達の気になる子どもに対し、ライフステージに応じた保健・教育・福祉の3分野が連携する拠点として「児童発達支援センター」を2020年4月に開設し、切れ目ない支援体制を整備します。



16,763千円

障害者地域生活支援の強化

**一部
新規**

発達に不安のある未就学児を遊びを通じて発達を促すため、親子通園を実施します。また、徘徊するおそれのある障害者を介護する家族を支援するためGPS徘徊探知システムを新たに導入します。

74,957千円

公営住宅活用による子育て世帯向け住宅支援

新規

県営福原アパート及び市営福原住宅を活用し、子育て世帯の負担軽減を図るため、子育て等に係る費用の一部の支援及び学習支援教室を実施します。

7,616千円

【 産 業 】

企業誘致の強化

拡充

優れた交通ネットワークの充実や首都圏に近い地理的条件等の優位性を生かし、新たな産業拠点の形成に向けた企業誘致を推進します。

115,195千円

事業承継支援の強化

次世代へのスムーズな「事業承継」に向けた事業承継支援体制の整備、事業承継セミナー開催、個別支援の実施、農業者の担い手の育成等の早期承継を促進する取組みを更に強化します。

9,071千円

地元企業人材確保の支援強化

拡充

働く人の減少等による人材不足が懸念されており、この現状の解消、また雇用の側面から企業活動の活性化に向けた雇用対策支援を行い市内経済の活性化を目指します。

- マッチングサイトの運営
- 学内フェア、体験バスツアー
- 説明会の開催や就職面接会



12,653千円

地域の鳥獣被害防止活動の促進

拡充

イノシシによる農作物被害対策として、笠間市鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動と併せ、地域住民による捕獲活動を推進し、被害軽減を図っていきます。

20,660千円

栗の産地づくりの推進
(栗の生産拡大等の支援)

栗の生産振興のため各種支援事業に積極的に取り組んでいます。平成31年度からは新たに、栗苗木支援事業を創設し、栗農家支援を更に強化していきます。

18,020千円

観光戦略の推進
(インバウンド観光の強化・かさまコンシェルジュ)

新規

東京オリンピック・パラリンピックの開催によるインバウンド需要をより強固に取り込むため、国際観光戦略を推進します。また、国内外の観光客と市民が交流する「笠間らしい魅力あふれる創造性豊かな観光のまち」を目指します。



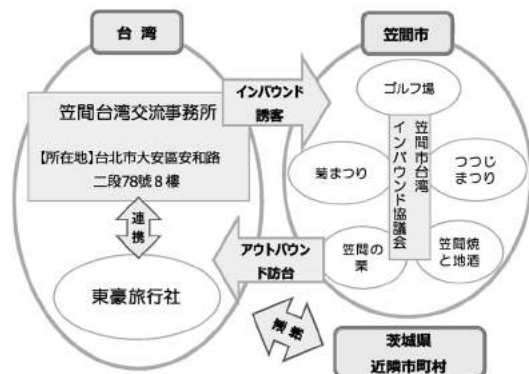
国内外からの誘客を図る3つの施策

21,625千円

台湾交流事務所を軸とした
インバウンドや観光等の推進

拡充

台湾交流事務所では、台湾からのさらなる誘客を促進するため、PRや情報発信、交流促進、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致などを行います。また、茨城空港の台湾定期便就航を受け、県や近隣市町村との広域連携によりさらなる誘客促進を図っていきます。



17,601千円

【 教育・文化 】

児童発達支援の強化

発達気になる子どもに対し、就学前からの相談・対応、就学後も支援員による学習環境のサポートをし、幼児期からの切れ目ない支援体制の確立を図ります。

62,958千円

きめ細かな学校教育 サポートの推進

一部
新規

教育現場に専門スタッフ、外部人材の活用により教員の負担を軽減するとともに学校教育の改善・充実を図ります。

12,966千円

学力向上対策の強化

拡充

AETやJETを活用した、児童・生徒の英語教育充実を図ります。また、「算数・数学」に課題を焦点化し「学力向上支援講師」を配置し、学習環境の支援をします。

147,626千円

文化財の保存活用の推進 (大日堂の取得)

新規

本市出身の日本画家である木村武山の作品が、大日堂内部に遺されていることから、貴重な文化遺産を後世に伝えていくため、市が取得し、文化財としての指定を目指すとともに、一般に公開します。

17,500千円

いきいき茨城ゆめ国体の開催

拡充

2019年に第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」(茨城国体)が開催され、笠間市においては、正式競技3競技、デモンストレーションスポーツ1競技を実施します。

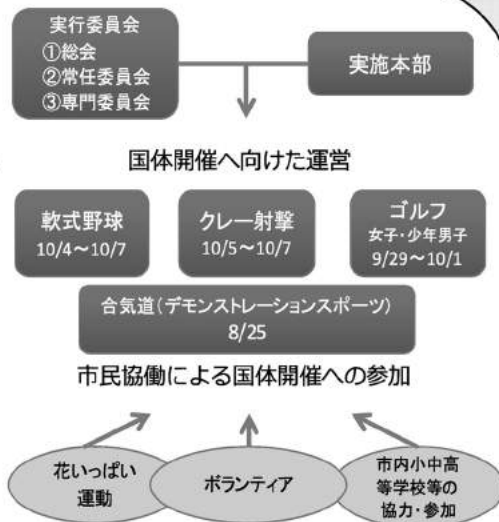
正式競技3競技

ゴルフ(女子・少年男子) : 9月29日～10月1日
軟式野球(成年男子) : 10月4日～10月7日
クレー射撃(全種目) : 10月5日～10月7日

デモンストレーションスポーツ1競技

合気道 : 8月25日

188,121千円



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン構想推進

拡充

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図り地域の活性化等を推進し、東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図ります。

8,765千円

音楽のまちづくりの推進 (かさま音楽フェスタ～奏～)

新規

「茨城国際音楽アカデミーinかさま」の終了を受けて、新たに、「かさま音楽フェスタ～奏～」としてリニューアルし、市民に対する質の高い芸術鑑賞の機会や、誰もが優れた芸術に触れる機会を提供いたします。

3,015千円

【 地 域 づ く り 】

多様な生き方の支援

人口減少、少子化、高齢化が進み、かつ市民の価値観や行動が多様化しているなか、多様性を認め合い、誰もが地域の中で生き生きと暮らし、楽しく活動できる地域社会の構築を目指していきます。

1,835千円

生涯活躍のまち構想の推進 (笠間版CCRC)

社会減少及び高齢化が進む中でのまちづくりに資するため、将来に向けて期待と安心を与える「笠間暮らし」を提供するコミュニティ（笠間版CCRC）の形成に向けた取組みを推進します。

13,000千円

移住・定住促進

一部
新規

定住化を促進するため、「移住体験施設」の運営や、移住相談への対応、首都圏を中心とした笠間市のPRを行っています。また、新たに国の制度を利用した移住支援も行っています。

32,902千円

地域活動拠点の交流促進 (地域交流センターともべ・いわま)

市民や地域コミュニティ、市民活動団体の情報発信、交流、健康増進、観光の拠点として地域交流センターともべ・いわまを管理運営することで地域の活性化を図ります。

62,179千円

【 自 治 体 運 営 】

市役所本庁舎大規模改修の実施

新規

本所庁舎（議会行政棟）は昭和57年に建築され、築36年が経過しています。施設の老朽化による不具合が発生しており維持管理に支障をきたしていることから大規模改修を行います。

整備コンセプト

- 環境負荷の低減・省エネに配慮した庁舎
- ユニバーサルデザインを取り入れ、安全安心に利用できる庁舎

誰もが利用しやすいトイレ



歩行が困難な方の 駐車スペース

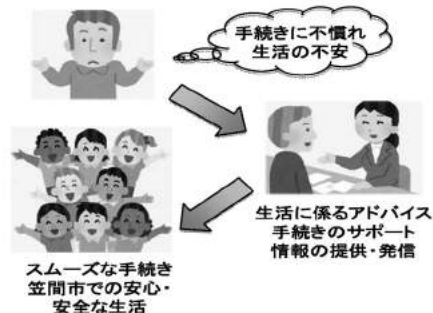


311,636千円

国際化の推進 (外国人相談窓口の整備)

新規

日本国内の外国人労働力の大幅な増加が見込まれているなか、増加する外国人が安心して暮らせるよう、手続きのサポート・生活の相談を受ける窓口を設置します。



2. 重要事務事業2019

事業名欄の「■」印は2019年度新規事業となります。

▶ 第1章 都市基盤

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
	<input type="checkbox"/> 立地適正化・景観形成の推進（立地適正化計画策定・景観計画策定）	まち	16,471
拡充	<input type="checkbox"/> 公共交通の充実（路線バス、観光周遊バス、スクールバス、デマンドタクシーの運行及び再編検討）	まち	245,527
	<input type="checkbox"/> 包括的な空家・空地政策の推進（管理不全対策、空家・空地バンク、利活用促進、中古住宅等流通促進）	まち	22,410
拡充	<input type="checkbox"/> 笠間市「道の駅」整備の推進	まち	857,583
新規	<input checked="" type="checkbox"/> 畜産試験場跡地の利活用促進（利活用促進・多目的広場の整備）	まち	209,891
拡充	<input type="checkbox"/> 安居工業地域の整備（整備推進支援業務）		19,012
	<input type="checkbox"/> 生活道路の整備（狭あい道路解消・維持修繕等）・幹線道路の整備	まち	533,650
拡充	<input type="checkbox"/> 友部駅周辺の道路景観構想の検討及び策定（無電柱化の促進・道路景観の向上）		8,500
拡充	<input type="checkbox"/> 宅地耐震化の推進（大規模盛土のスクリーニング調査）		4,968
	<input type="checkbox"/> 市内インフラの長寿命化等の推進（上水道・下水道・橋梁）		202,362
	<input type="checkbox"/> 水道事業経営の強化（料金徴収等の包括的業務委託の推進）		82,620
	<input type="checkbox"/> 生活排水の適正処理の推進（公共下水道・農業集落排水の整備・接続支援、合併浄化槽設置補助）	まち	113,638

▶ 第2章 生活環境

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
	<input type="checkbox"/> ペットの適正飼育の推進（犬・猫の不妊去勢手術費の補助）		1,010
	<input type="checkbox"/> 自然を守る市民活動の推進（自然体験学習、環境美化活動の推進）		551
	<input type="checkbox"/> 一般廃棄物処理基本計画の推進（効率的なごみ処理体制の確立）		314
新規	<input type="checkbox"/> 災害対策の強化（地域防災計画の改定、被災者生活再建支援システムの運営、 <input checked="" type="checkbox"/> 防災無線デジタル化実施設計）		27,058
	<input type="checkbox"/> 地域防災力の向上（自主防災組織の育成支援、防災士の育成支援）		524
新規	<input type="checkbox"/> 消防団の支援（消防団詰所や消防団ポンプ車両の計画的な整備、 <input checked="" type="checkbox"/> 団員確保に向けたPR体制の充実）		72,967
	<input type="checkbox"/> 消防隊員の士気高揚及び技術力強化（訓練等実施体制の強化）		26,195
新規	<input checked="" type="checkbox"/> 防災機能強化に向けた防災設備の整備	まち	11,618
新規	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全の強化（自転車安全利用推進のための条例化）		237

▶ 第3章 健康・福祉

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
拡充	<input type="checkbox"/> 「地域医療センターかさま」の機能強化（医療・保健・福祉連携強化） ▽ 地域医療センターかさま病児保育の実施 ▽ ファミリー健康体験、みんなの相談室～メディカルCafe～、講演会開催 ▽ プレコンセプションケアの実施	ひと	15,016
	<input type="checkbox"/> 筑波大学附属病院との連携推進（指導医派遣・研修医受入）	ひと	18,000
	<input type="checkbox"/> 平日夜間・日曜初期救急診療の実施	ひと	18,650
	<input type="checkbox"/> 住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供に向けた体制づくり（地域包括ケアシステム）	ひと	20,081
新規	<input type="checkbox"/> 妊娠・出産～子育て期における切れ目ない支援 （特定不妊治療費助成、各種健康診査・相談、産後ケア・産前産後サポート、食育、 <input checked="" type="checkbox"/> 0歳児～2歳児を家庭内で保育する保護者への支援）	ひと	97,061
新規	<input type="checkbox"/> 保育の質の向上（保育補助者等の配置による保育士負担軽減、 <input checked="" type="checkbox"/> 保育資格者の就労等支援による保育士確保）	ひと	12,289
拡充	<input type="checkbox"/> 子育て世帯の費用負担の軽減 ▽ 医療福祉費支給・自己負担金助成 ▽ 予防接種費用の助成（インフルエンザ、ロタ、おたふく、風しん）	ひと	676,021
新規	<input type="checkbox"/> 保育環境の向上 ▽ 公設放課後児童クラブの運営及び民設児童クラブ運営補助 ▽ 待機児童解消のための保育所等整備補助 ▽ <input checked="" type="checkbox"/> 公私連携こども園の運営 ▽ ファミリーサポートセンター（仕事と育児両立に向けた地域会員組織による子育ての援助） ▽ 子育て短期支援事業（保護者の疾病・疲労等による養育困難時における一時養育・保護）		403,837
新規	<input checked="" type="checkbox"/> 公営住宅活用による子育て世帯向け住宅支援（県営福原アパート・市営福原住宅）		7,616
	<input type="checkbox"/> ひとり親家庭等の就業支援（高等職業訓練費の助成）	ひと	6,475
	<input type="checkbox"/> 各種がん検診等、健康診査の勧奨及び保健指導の強化	ひと	64,897
	<input type="checkbox"/> 国民健康保険生活習慣病の重症化予防 ▽ 特定健康診査、特定保健指導の実施 ▽ 人間ドック・脳ドック受診の推奨	ひと	76,015
新規	<input type="checkbox"/> ソーシャルサポート強化事業 ▽ <input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援センターの整備（保健・福祉・教育等連携） ▽ 自殺対策の強化 ▽ <input checked="" type="checkbox"/> ひきこもりサポートの充実	ひと ひと ひと	16,763

新規	<input type="checkbox"/> 障害者地域生活支援の強化（親子通園教室の充実、 ■ 徘徊障害者見守り事業）	ひと	74,957
	<input type="checkbox"/> 生活困窮者自立支援・生活保護の適正化	ひと	24,186
拡充	<input type="checkbox"/> 糖尿病重症化予防・認知症予防（ライフステージに応じた支援の充実）	ひと	10,896
	▽ 糖尿病予防教室・糖尿病重症化予防教室		
	▽ 生活習慣病予防対策事業の実施（糖尿病性腎症重症化予防事業）		
	▽ 介護予防把握事業（実態調査データを活用した効果的介護予防事業の展開）		

▶ 第4章 産業

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
拡充	<input type="checkbox"/> 企業誘致の強化	もの	115,195
	<input type="checkbox"/> 創業支援の推進（ものづくり作家創業支援・クリエイターの創出等）	もの	8,618
拡充	<input type="checkbox"/> 地元企業人材確保の支援強化（インターンシップ促進、企業向けセミナー、学生マッチング強化等）	もの	12,653
	<input type="checkbox"/> 事業承継支援の強化	もの	9,071
	▽ 商工業の事業承継促進（セミナー等の開催）		
	▽ 農業担い手の育成支援（研修、機械等整備、樹園地承継による担い手の育成・定着）		
拡充	<input type="checkbox"/> 地域の鳥獣被害防止活動の促進（電気柵・防護柵購入補助、捕獲活動補助等）		20,660
	<input type="checkbox"/> 地場農産物等のブランド力の強化	もの	6,327
	<input type="checkbox"/> 笠間焼産地振興の展開（笠間焼作家の育成・笠間焼海外輸出の支援）	もの	21,262
	<input type="checkbox"/> 栗の産地づくりの推進（栗の生産拡大等の支援）	もの	18,020
	<input type="checkbox"/> 農業生産基盤の整備・保全（押辺・安居地区、大淵地区、石井・来栖地区）		7,680
	※（北川根地区、友部小原地区、随分附地区、友部中央地区）		※ 52,450
新規	<input type="checkbox"/> 観光戦略の推進（インバウンド観光の強化・ ■ かさまコンシェルジュ）	もの	21,625
拡充	<input type="checkbox"/> 台湾交流事務所を軸としたインバウンドや観光等の推進	もの	17,601

※印については、国の補正予算に関わるもので、2018年度2月補正予算に計上。

▶ 第5章 教育・文化

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
	<input type="checkbox"/> 児童発達支援の強化（ことばと心の教室支援員の配置・就業前（後）教育アドバイザー配置・特別支援教育支援員の配置・特別支援教育指導専門員の配置）	ひと	62,958
拡充	<input type="checkbox"/> 学力向上対策の強化（寺子屋事業・グローバル人材育成・英語教育強化推進事業・算数数学学力向上支援事業）	ひと	147,626
新規	<input type="checkbox"/> きめ細かな学校教育サポートの推進（スクールソーシャルワーカーの配置・ ■ 部活動指導員配置）	ひと	12,966
	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールの本格実施	ひと	524
新規	■ 小・中学校（義務教育学校）校舎等の環境向上の推進 （友部第二中学校校舎老朽化対策、みなみ学園義務教育学校校舎老朽化対策、小中学校トイレ改修等）		749,611
	<input type="checkbox"/> 笠間城跡の史跡化の推進（継続調査・検討）	まち	16,578
新規	■ 文化財の保存活用推進（大日堂の取得）	まち	17,500
	<input type="checkbox"/> 筑波海軍航空隊記念館の保存と活用	まち	14,183
	<input type="checkbox"/> 「日本一の図書館」サービスの展開 ◎全国の人口8万人未満の市区の中で、6年連続第1位の貸出総数		112,487
拡充	<input type="checkbox"/> いきいき茨城ゆめ国体の開催		188,121
拡充	<input type="checkbox"/> 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン構想推進（機運醸成・相互交流の推進）		8,765
	<input type="checkbox"/> スポーツ国際交流の推進（国際交流員を採用したスポーツ指導）		3,528
	<input type="checkbox"/> 東京オリンピック・パラリンピック記念中学校駅伝大会の開催		1,793
新規	■ 音楽のまちづくりの推進（音楽フェスタ〜奏〜）		3,015

▶ 第6章 地域づくり

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
	<input type="checkbox"/> 多様な生き方の支援（ワークライフバランスの推進、女性活躍応援、子連れスタイルの提案）	ひと	1,835
	<input type="checkbox"/> 地域活動拠点の交流促進（地域交流センターともべ「トモア」・いわま「あたご」）	まち	62,179
新規	<input type="checkbox"/> 移住・定住促進（お試し居住、移住促進PR、地域おこし協力隊活動支援、 ■ 移住支援金）	ひと	32,902
	<input type="checkbox"/> 生涯活躍のまち構想の推進（笠間版CCRC）	まち	13,000

▶ 第7章 自治体運営

(単位：千円)

	事業名	重点課題	事業費
	<input type="checkbox"/> 行政改革の推進（働き方改革にもつなげる業務改善・ビルド&スクラップ・ICT化の推進）		16,507
	<input type="checkbox"/> 働き方改革の推進（マネジメント能力強化、人材育成推進、モバイルワークの検討）		1,436
	<input type="checkbox"/> 市財政の透明化と健全運営（財務書類の作成と分析）		3,349
拡充	<input type="checkbox"/> 自主財源の確保（ふるさとづくり寄付金制度の強化、市税等収納対策の強化）		66,472
	<input type="checkbox"/> 戦略的な広報活動の推進（シティプロモーションの推進）	ひと	17,051
	<input type="checkbox"/> 公共建築物中期資産管理計画の策定（再編・最適化、長寿命化）		10,194
新規	■ 市役所本庁舎大規模改修の実施		311,636
新規	■ 国際化の推進（外国人相談窓口の整備）		-
	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想の推進（水戸市を中心とした広域連携） ◎県央地域9市町村による医療・福祉・産業・環境・教育・地域公共交通・人材育成分野等連携	まち	3,106

IV. 各会計の予算額

～平成31年度予算について～

一般会計

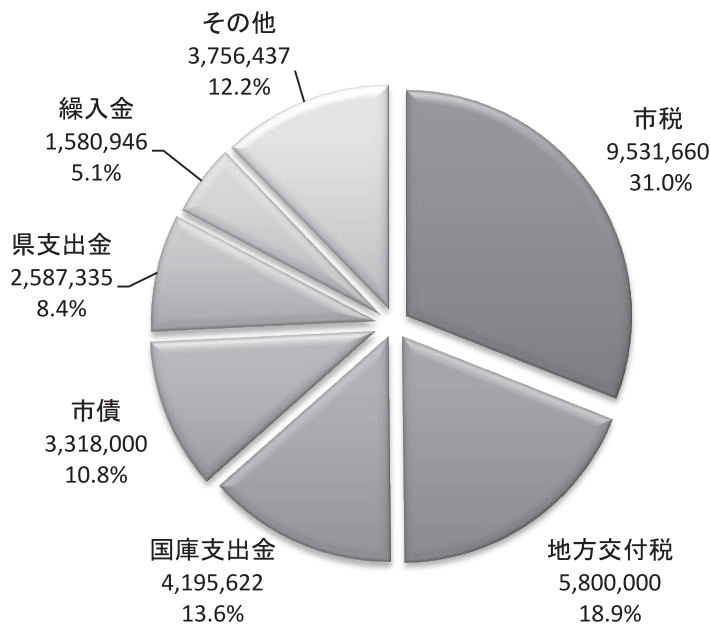
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市民税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

平成31年度予算は307億7,000万円
前年度比12億2,000万円増

○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約95億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は58億円、国庫支出金と県支出金をあわせて約68億円を見込んでいます。

《歳入予算内訳（千円）》



区 分	主 な 内 容
市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。
国庫支出金 (国からの歳入)	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金 (県からの歳入)	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

いな吉メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どれくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

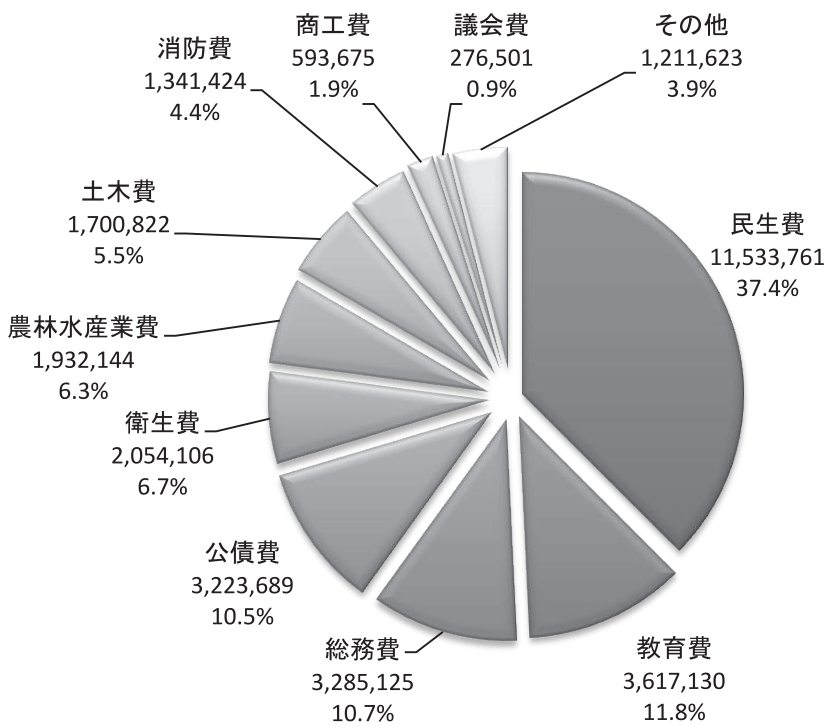
やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかがわかるよ。
笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いよ。
今年度は、障害者自立支援給付費や民間保育所及び民間認定こども園への負担金が増えているよ。



区 分	主 な 内 容
民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの事業費です。
教 育 費	学校・図書館などの事業費，スポーツ大会などの事業費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。
公 債 費	借入金を返済する事業費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの事業費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための事業費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動事業費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する事業費です。
そ の 他	病院・水道事業等への支出金，不測の事態に備えた予備費等です。

いな吉メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこで色々な審議・議論がされて、決定されるんだよ。

国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



平成31年度予算は76億100万円
前年度比6億3,300万円減

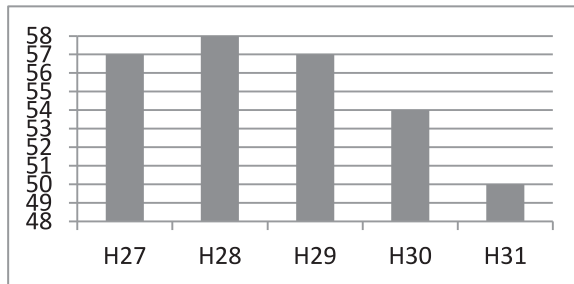
加入者の高齢化に伴う後期高齢者医療制度への移行等により、加入者数が減少していることから予算全体として減となっています。今年度については、レセプトデータを基に糖尿病の重症化予防事業を実施します。



被保険者は約19,000人を見込んでいて、そのうち約5割が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。
市の保険給付費は1人当たり約26万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)



○主な事業

糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病性腎症等の治療レセプトがある患者で重症化するリスクの高い対象者を抽出し、医療機関と連携して保健指導（服薬管理、食事療法、運動療法）を行います。

6,414千円

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



平成31年度予算は8億4,400万円
前年度比3,900万円増

今年度は、被保険者の増にともない保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を増で見込んでいます。

また前年同様に、人間ドック・脳ドックの検診費に対する助成を実施します。

介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。

現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。

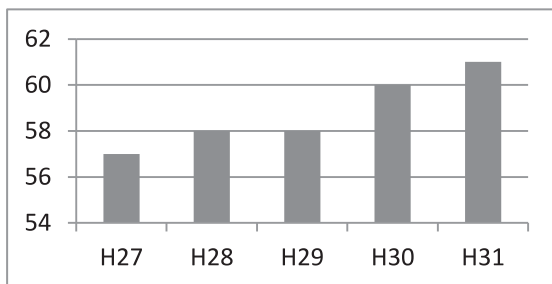


平成31年度予算は65億3,200万円
前年度比1億5,100万円増

今年度は、サービス利用者の増加を見込んでおり増額となっています。また、筑波大学と連携し、スクエアステップ実践者と未実践者の血液検査を行い、認知症の原因とされるアミロイドβの関係性を調査を行います。さらに、認知症施策や日常生活支援総合事業による多様な生活支援サービスの充実など、介護予防と重度化防止を図ります。

介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。
今年度の認定者は、昨年度より100人多い、約4,000人を見込んでいるよ。1人当たりの給付費は約151万円なんだ。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



○主な事業（保険給付費以外）

訪問・通所サービス事業

要支援の方及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が利用できる総合事業のサービスを実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業）

148,893千円

介護保険事業計画策定事業

第8期介護保険事業計画（2021年度～2023年度）を策定し、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を策定します。

1,592千円

介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成費を主な収入としています。



平成31年度予算は2,200万円
前年度比400万円増

今年度は、予防給付分と委託による総合事業分（報酬有）4,116件と、直営包括支援センターによる総合事業分（報酬無）3,500件を見込んでいます。

農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活排水をきれいにする農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、使用料などを財源に施設の運営管理や下水道の整備などを行います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整備・管理をしています。



平成31年度予算は8億1,200万円
前年度比3,800万円増

今年度については、昨年度までの整備に係る公債費及び工事に伴う補償物件の移設等が増えています。整備については、引き続き小原地区を中心とする友部北部地区においてⅡ期地区の管路施設工事を行います。

公共下水道事業会計

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする公共下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・管理をしています。



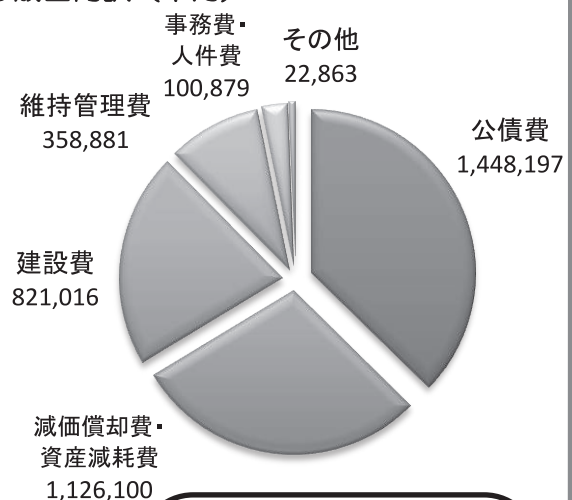
平成31年度支出予算は38億7,793万6千円

平成30年度より地方公営企業法を適用し、公営企業会計による会計処理を行っています。

建設費では、下水道施設の整備に加え、不明水対策を含む老朽化した管路の更新に係る工事を行います。

また、浄化センターともべの汚水処理施設の増設に向けた工事に着手します。

○歳出内訳（千円）



○主な事業

下水道事業会計経営戦略策定事業

公共下水道事業の地方公営企業法適用後の決算結果を踏まえ、今後の下水道事業の収支等について計画する経営戦略を策定します。

3,337千円



公営企業会計の「発生主義」の考え方のもと減価償却等を計上しています。公債費とともに大きな割合を占めているよ。

病院事業会計

笠間市における保健施設の中核として公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

外来診療収益等によって医療サービス費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

平成31年度予算は11億9,737万4千円
前年度比3億4,475万7千円増

笠間市立病院は、通常の外来・入院診療に加え、地域医療として地域包括ケア病床を備え、訪問診療・訪問看護及び訪問リハビリテーションを行っており、居宅介護支援事業所（ケアプランセンターかさま）も併設しています。

本年度は、旧病院の解体費用を計上し、前年度より増額となっています。

※市立病院のある「地域医療センターかさま」には、①保健センター、②地域包括支援センター、③病児保育室などが併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！



○主な事業

プレコンセプションケア事業

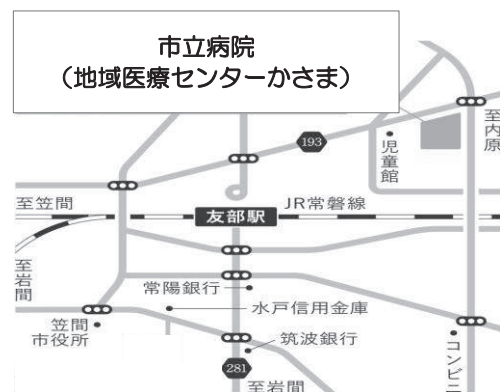
新規

妊娠を希望する方に対し、医師による血液検査及び各種抗体検査等を実施し、医師より指導を行います。また、保健師や管理栄養士による継続的な相談指導を行い、母子ともに健康な生活を送れるよう支援します。

（※自己負担があります）

2,300千円

○位置図



○外来診療のご案内

診療科目		受付時間	
総合診療科	月曜日～金曜日	午前 午後	8:30～11:00 13:00～16:00
皮膚科	火曜日・木曜日	火曜日：午前・午後 木曜日：午前中のみ	

* 祝日、年末年始は休診となります。

* 初期救急診療として、平日夜間・日曜診療を行っています。



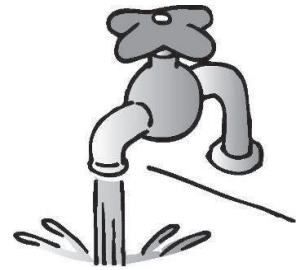
地域医療センターかさま

* お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



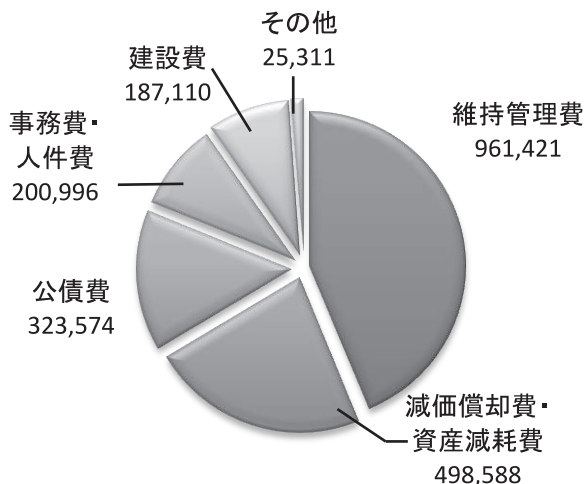
平成31年度支出予算は21億9,700万円
前年度比1億291万2千円減

今年度は、減価償却の減や企業債償還金の減などにより減額となっています。また、今年度についても引き続き、石綿管解消のため老朽管更新工事を実施します。

○平成31年度業務予定量

給水件数	25,838 件	
年間総給水量	6,673,018 m ³	
一日平均給水量	18,282 m ³	
建設改良事業	事務費	15,508 千円
	施設改良費	187,110 千円

○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約660万m³。東京ドーム約5.3個分もあるんだよ。



○主な事業

水道施設等整備事業

老朽管を耐震性に優れた水道管へ布設替えをする工事や、配水施設の増設工事などを実施します。

146,880千円

工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成31年度支出予算は7,061万5千円
前年度比4,170万円増

今年度は工業用水道の安定供給を維持するため、取水施設の更新を行います。

○平成31年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	143,627 m ³
一日平均給水量	393 m ³

V.事業スクラップにより廃止等を行う事業

総合計画の実現や業務の効率化を図る目的から、行政評価の一環として、事務事業の廃止・見直し等（事業スクラップ）を推進しました。

(1)スクラップ事業の統計

廃止 25件（廃止：16件，統合：9件）

見直し 27件（見直し：14件，一部廃止：6件，縮小：5件，一部アウトソーシング：2件）

アウトソーシング 6件

合計 58件

(2)効果額（H31当初予算額とH30当初予算額の差）

▲91,239千円（廃止16件の合計）

(3)スクラップ事業（一部抜粋）

（単位：千円）

No.	事務事業名	内容	効果額
1	いなだ保育所跡地管理事業	旧いなだ保育所の施設について、民間事業者による利活用を行うため。	▲ 427
2	健康なまちづくり運動支援事業	複数の課で類似のイベントを実施しているため。	▲ 35
3	かさま健康歩イント事業	県で実施する事業を活用するため、平成31年6月末（予定）で廃止する。	▲ 1,706
4	日本一の栗の産地づくり推進事業	交付金を活用した3カ年事業が終了したため。	▲ 13,533
5	林業担い手育成強化対策事業	公共事業の受託の増加により森林組合の収益増加が見込めるため、補助を廃止する。	▲ 74
6	海外地方自治体職員協力交流事業	草の根技術協力事業によりベトナムとの交流を継続するため。	▲ 3,638
7	荒廃農地等利活用促進交付金事業	国・県は予算計上していないため。	▲ 4,500
8	笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業	かさま歴史交流館井筒屋の整備が完了し、周辺整備は、現在の計画で終了となるため。	▲ 61,658
9	交通安全体験事業	学校内の研修の充実により対応するため。	▲ 73
10	花によるまちづくり事業	花づくりを通して地域コミュニティの活性化を図るという当初の目的が達成されたため。	▲ 974
11	茨城国際音楽アカデミーinかさま事業	音楽技術の向上と国際的に活躍する若手音楽家の育成という当初の目的を達成したため。	▲ 4,017
12	幼児演劇鑑賞会事業	参加人数が少なく、費用対効果が見込めないため。	▲ 304
13	男女共同参画事業	「女性の活躍応援事業」とともに「多様な生き方支援事業」に統合する。	-
14	かさま観光大使雇用事業	市民が主役の観光まちづくりを一体的に行うため「かさまコンシェルジュ事業」に統合する。	-
15	愛農学園事業	類似の事業を行っている「小学校教育振興事務」に統合する。	-

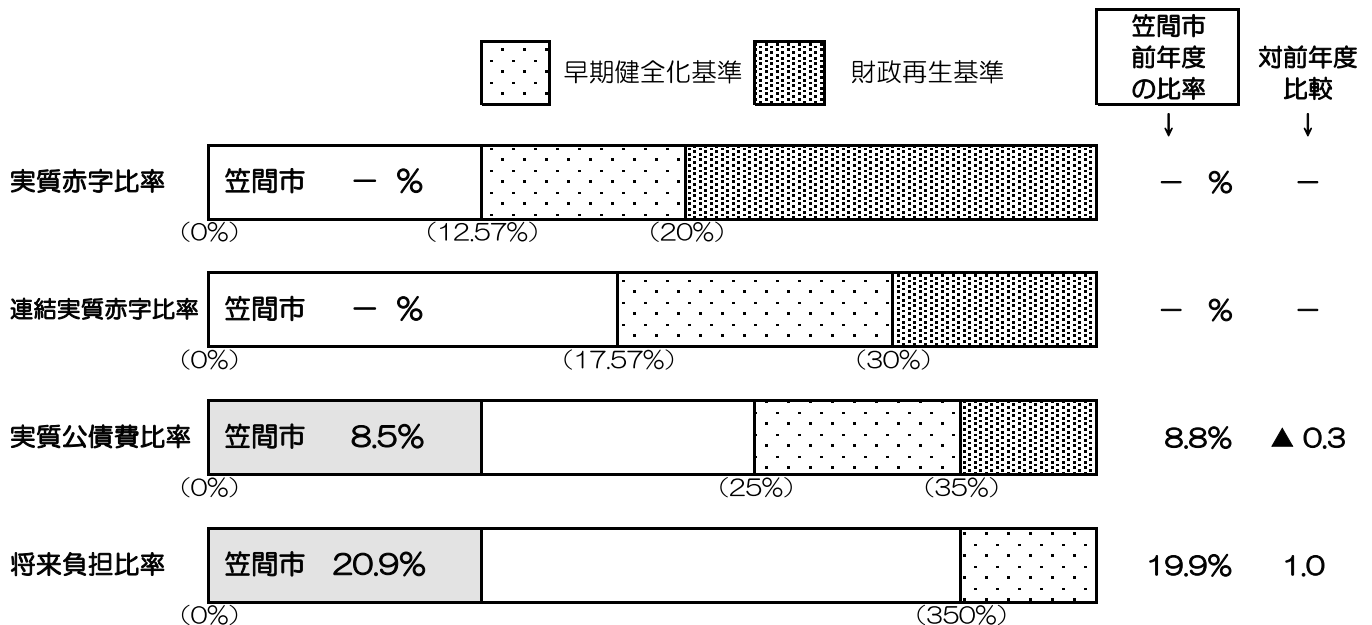
No.	事務事業名	内容		効果額
16	文書管理事務	文書管理システムを導入し、起案・決裁・文書管理の効率化を図る。	見直し	-
17	車輛管理事業	給油伝票の会計処理が煩雑であるため、カード決済の導入を進める。	見直し	-
18	地域ポイント制度事業	ポイント対象の変更等、制度のリニューアルを検討する。	見直し	-
19	市民運動会事業	参加対象者やコンセプトについて見直す。なお、平成31年度は実施しない。	見直し	-
20	障害者医療給付事業	マル福を利用してきた更生医療の対象者について、新たに自立支援医療制度を活用する。	見直し	-
21	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターみつばちの運営を委託する。	見直し(一部アウトソーシング)	-
22	賦課徴収事務	国保運営広域化により県へ納付金を納める制度に変更されたため、暫定賦課を廃止する。	見直し(一部廃止)	-
23	医療福祉費自己負担金助成事業(市単独分)	自立支援医療制度を利用することとしたため、マル福による助成を一部廃止する。	見直し(一部廃止)	-
24	地場農産物振興拡大事業	一定の成果を上げることができたため、笠間ブランディングアドバイザーを廃止する。	見直し(一部廃止)	-
25	鳥獣被害防止地域支援事業	イノシシの処分について業者への委託を廃止する。	見直し(一部廃止)	-
26	常備消防事務	災害時に署に待機する職員について、災害現場により多くの人員を出勤させるため廃止する。	見直し(一部廃止)	-
27	まちなか犯罪抑止事業	防犯カメラの設置をおおむね終えたため、今後は維持管理に努める。	見直し(縮小)	-
28	市民環境活動促進事業	類似イベントと合同で開催する。	見直し(縮小)	-
29	笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業	地域活性化に取り組む組織の自立に向け、事業を見直す。	見直し(縮小)	-
30	社会副読本事業	改訂を3年に1度から5年に1度とする。	見直し(縮小)	-
31	かさまこども園運営管理事業	公私連携として、学校法人が運営する。	アウトソーシング	-
32	いなだこども園運営管理事業	公私連携として、学校法人が運営する。	アウトソーシング	-
33	健康増進事業	健康教育の一部事業について、委託を検討する。	アウトソーシング	-
34	つつじ公園管理事業	つつじ公園に指定管理者を導入する。	アウトソーシング	-
35	かさま歴史交流館井筒屋運営管理事業	かさま歴史交流館井筒屋に指定管理者を導入する。	アウトソーシング	-

VI. 笠間市の財政状況について

財政健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という。）」では、「**早期健全化基準**」と「**財政再生基準**」の2段階の基準で財政悪化をチェックするとともに、特別会計等も合わせた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにしています。

平成29年度決算における財政健全化法による4つの指標とは以下のとおりです。
 なお、笠間市の財政状況において、すべての比率で基準を下回っています。



財政の健全度を判断するには、以下の4つの指標で判断します。

(1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

(2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

特別会計等とは、国民健康保険、介護保険、公共下水道事業、農業集落排水事業、岩間駅東土地区画整理事業、病院事業、水道事業など。

(3) 実質公債費比率（3カ年平均）

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです。（全会計＋笠間地方広域事務組合などの一部事務組合等が対象）

(4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。（全会計＋一部事務組合＋第三セクター等が対象）

＊早期健全化基準：この基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣・県知事への報告、また、毎年度その実施状況の議会への報告、公表が必要となります。

＊財政再生基準：この基準以上となった場合は、財政再生計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣の同意を得ている場合でなければ、災害復旧事業等を除き地方債の借り入れができなくなります。

Ⅶ. 基金の状況

平成31年度末現在高見込額は約153億4,300万円
対前年度比約13億3,700万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

今年度は、一般会計の基金繰入金が約9,984万円の増となっています。財政調整基金繰入金が1億5,000万円の減、地球温暖化防止等事業基金の繰入金が約2,903万円の減となっている一方で、企業立地促進基金の繰入金が1億円の増、庁舎建設基金の繰入金が約5,116万円の増、元氣かさま応援基金の繰入金が約4,000万円の増となっていることが主な要因となっています。

また、積立額は約5,154万円の増となっています。元氣かさま応援基金の積立金が約4,000万円の増となっていることが主な要因となっています。

○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	平成30年度末 現在高見込額	平成31年度		平成31年度末 現在高見込額
		繰入予定額	積立予定額	
一般会計	15,606	1,576	219	14,249
財政調整基金	6,902	800	1	6,103
減債基金	1,716	223	1	1,494
特定目的基金	5,505	553	217	5,169
土地開発基金	1,483	0	0	1,483
特別会計	1,075	1	20	1,094
国民健康保険 財政調整基金	367	0	0	367
介護給付費準備基金	707	1	20	726
農業集落排水事業 市債償還基金	1	0	0	1
合 計	16,681	1,577	239	15,343

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置)
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

元気かさま 応援基金

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進するために、「元気かさま応援基金」を設置しています。

この基金は、笠間市を応援してくださる方々からの「ふるさとづくり寄附金」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

平成30年度にいただいた寄附金は、平成31年度の下記の事業に活用させていただく予定となっています。

○元気かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

事業の区分	充当事業名	活用金額	担当課
まちづくり支援事業	地域集会所建設（増改築）事業	2,737	市民活動課
	市民活動助成事業	2,100	市民活動課
	国際交流事業	924	市民活動課
	地域ポイント制度事業	2,135	市民活動課
	地域課題解決支援モデル事業	1,238	企画政策課
	笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業	211	商工課
	まちなか犯罪抑止事業	6,317	市民活動課
	eスポーツ大会実施事業	2,125	秘書課
	筑波海軍航空隊展示運営事業	6,065	生涯学習課
	商店街活性化事業	3,396	商工課
子ども支援事業	地域子育て支援拠点事業	3,571	子ども福祉課
	予防接種事業	8,600	健康増進課
	保育士就労支援事業	3,700	子ども福祉課
	在宅子育て支援事業	800	子ども福祉課
	児童発達支援センター事業	11,033	社会福祉課
	子育て世代包括支援センター事業	698	健康増進課
芸術文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	全国こども陶芸展推進事業	412	生涯学習課
	かさま音楽フェスタ～奏～事業	2,740	生涯学習課

○ふるさと納税

ふるさと納税（元気かさま応援基金）は、生まれ育った「ふるさと」を応援したい、貢献したいという方々が、「ふるさと」の自治体へ寄附できる制度です。応援していただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。皆様の応援が笠間市の発展の力となりますので、ぜひ思いをお寄せいただければと思います。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。



穴戸ヒルズカントリークラブ
(ゴルフ場利用券)



笠間焼



笠間の栗

公式サイト <http://www.city.kasama.lg.jp/page/page001672.html>

Ⅷ. 市債の状況

平成31年度の借入額は約44億8,600万円
 年度末現在高見込額は約534億6,600万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

今年度は、借入予定額が前年度当初に比べて約3億700万円増えています。一般会計における本庁舎大規模改修事業債の約2億3,850万円の増、道の駅整備事業債の約3億6,750万円の増、みなみ学園義務教育学校整備事業債の約2億9,380万円の増が主な理由となっています。

また、一般会計における借入額を市債の区分別にみると、合併特例債が20億9,000万円、普通建設事業債等に区分した緊急防災・減災事業債が3,100万円、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債が11億9,700万円となっています。

○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	平成30年度末 現在高見込額	平成31年度		平成31年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	31,243	3,318	3,039	31,522
普通建設事業債等	3,739	31	716	3,054
合併特例債	12,040	2,090	1,158	12,972
臨時財政対策債	15,464	1,197	1,165	15,496
農業集落排水事業 特別会計	3,937	198	226	3,909
病院事業会計	1,083	1	67	1,017
水道事業会計	2,512	70	272	2,310
公共下水道事業会計	15,022	899	1,213	14,708
合 計	53,797	4,486	4,817	53,466

合併特例債	合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの
緊急防災・減災事業債	緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災事業のために借り入れるもの
臨時財政対策債	普通交付税の代替措置として借り入れるもの

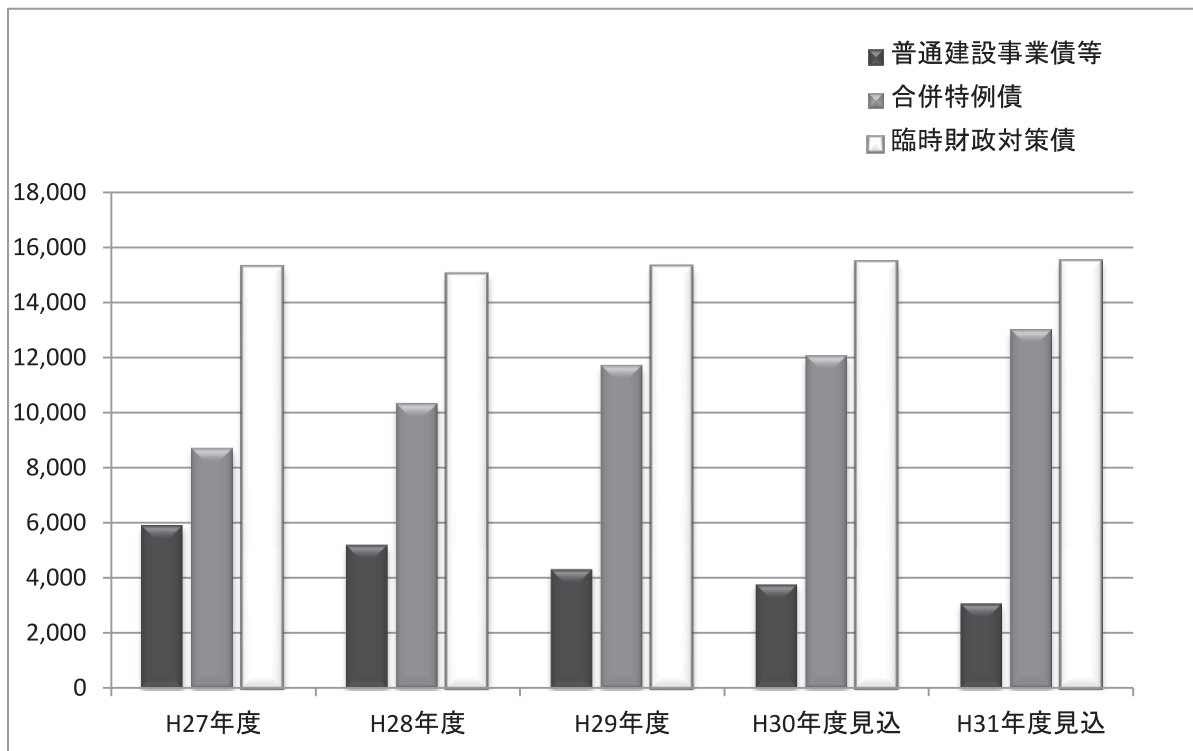
○年度末現在高推移表

一般会計の年度末現在高は、昨年度と比較すると約2億7,900万円の増となっています。増加の主な理由は、本庁舎大規模改修事業、道の駅整備事業、みなみ学園義務教育学校整備事業となっています。一般会計の残高が増えている一方で、特別会計や企業会計の残高は減少しているため全体として昨年度よりも減少となっています。

高利率の借入については、積極的に繰上償還をし、毎年の借り入れについては将来の財政運営を十分に見通したうえで、真に必要な事業を厳選し、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



いな吉メモ⑥ 『 どうしてお金を借りているの?? 』

今年度は約45億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になってるんだ。「借金をしないと事業ができないうら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、道の駅や幹線道路を整備する時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならなくなるんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたっての利用者も経費を負担するかたちになっているんだ。



Ⅸ. 合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって補填されるという、非常に有利な財源となっています。

笠間市は、平成30年度までに、189億5,730万円の借り入れを予定しています。

【参考】合併特例債発行限度額：約322億円

【これまでの借入金額と主な活用事業】

道路整備事業 51億2,170万円

主な事業

- 1級12号線
(岩間支所～畜産試験場跡地)
- 上町大沢線
- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 笠間小原線(桂町工区)

都市整備事業 30億800万円

主な事業

- 岩間駅周辺整備
- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間地区市街地浸水対策
- 笠間稲荷門前通り
- 友部駅周辺整備(地区道路)
- 多目的広場整備事業

学校施設等整備事業 35億8,370万円

主な事業

- 友部中学校校舎耐震補強
- 岩間中学校校舎建設
- 笠間学校給食センター建設
- 笠間中学校武道場整備
- 小・中学校校舎エアコン設置

その他 72億4,390万円

主な事業

- 地域交流センター整備
- 認定こども園整備
- 地域医療センターかさま建設
- 市民センターいわま整備
- 笠間公民館リニューアル

【平成31年度の借入予定金額と主な活用事業】

平成31年度借入予定金額 20億9,040万円

主な事業

- 本庁舎大規模改修
- 道の駅整備
- 多目的広場整備
- 友部第二中学校大規模改修
- みなみ学園義務教育学校整備

合併特例債(建設事業)には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円が上限となっているよ。



いな吉メモ◎ 合併特例債の活用

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10ヵ年度(笠間市では平成27年度まで)に限られていたけど、東日本大震災によって被災した特定被災地区は、期限を延長することができるようになったんだよ。

笠間市も財政上有利な合併特例債を活用するため、平成37年度まで延長したよ。

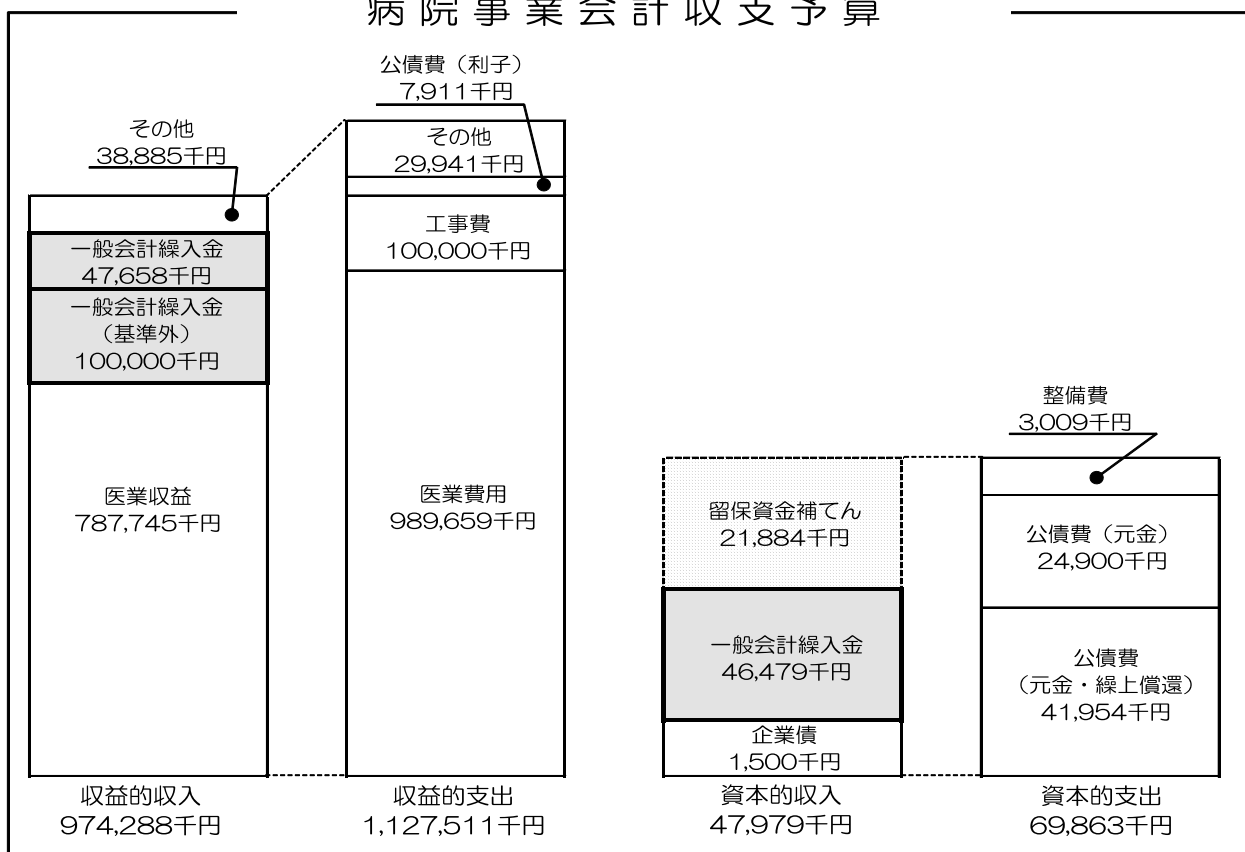
X.公営企業会計の収支

『公営企業会計』とは、特定のサービスを提供する事業会計となっており、サービス利用者からの収入を以って運営する会計となります。また、通常の会計と違い、より民間企業に近い会計処理となっています。

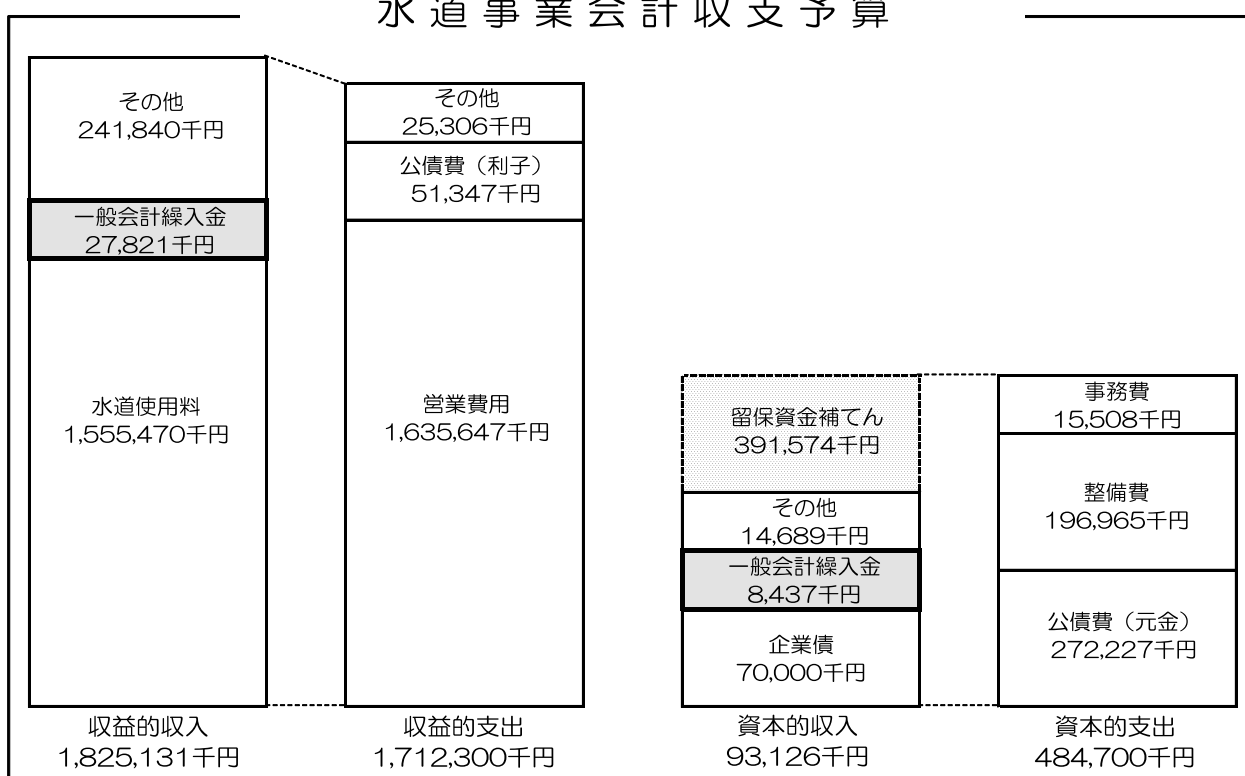
現在市では、病院事業・水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業の4会計があります。下記には4会計の平成31年度当初予算を示しています。

公営企業に係る予算については大きく2つに分類され、運営に関わる予算として『収益的収支』、整備などの資産を形成する予算として『資本的収支』により編成されています。

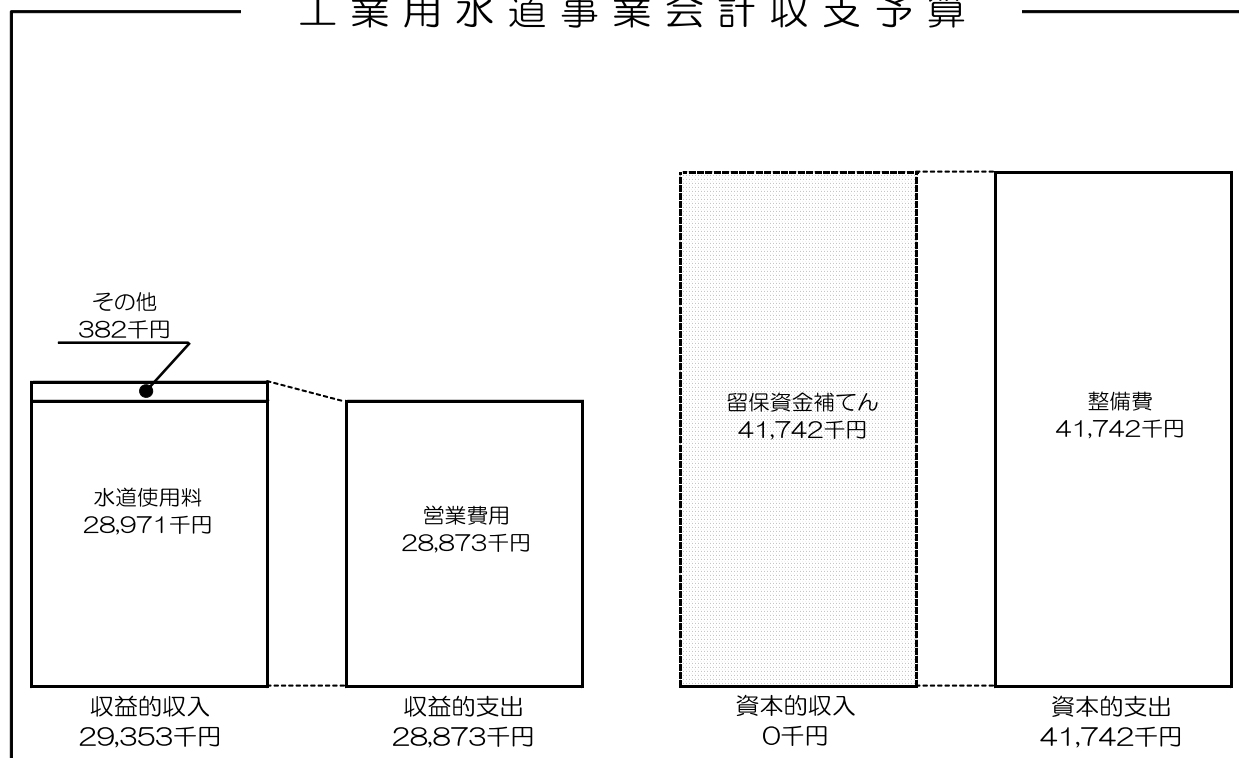
病院事業会計収支予算



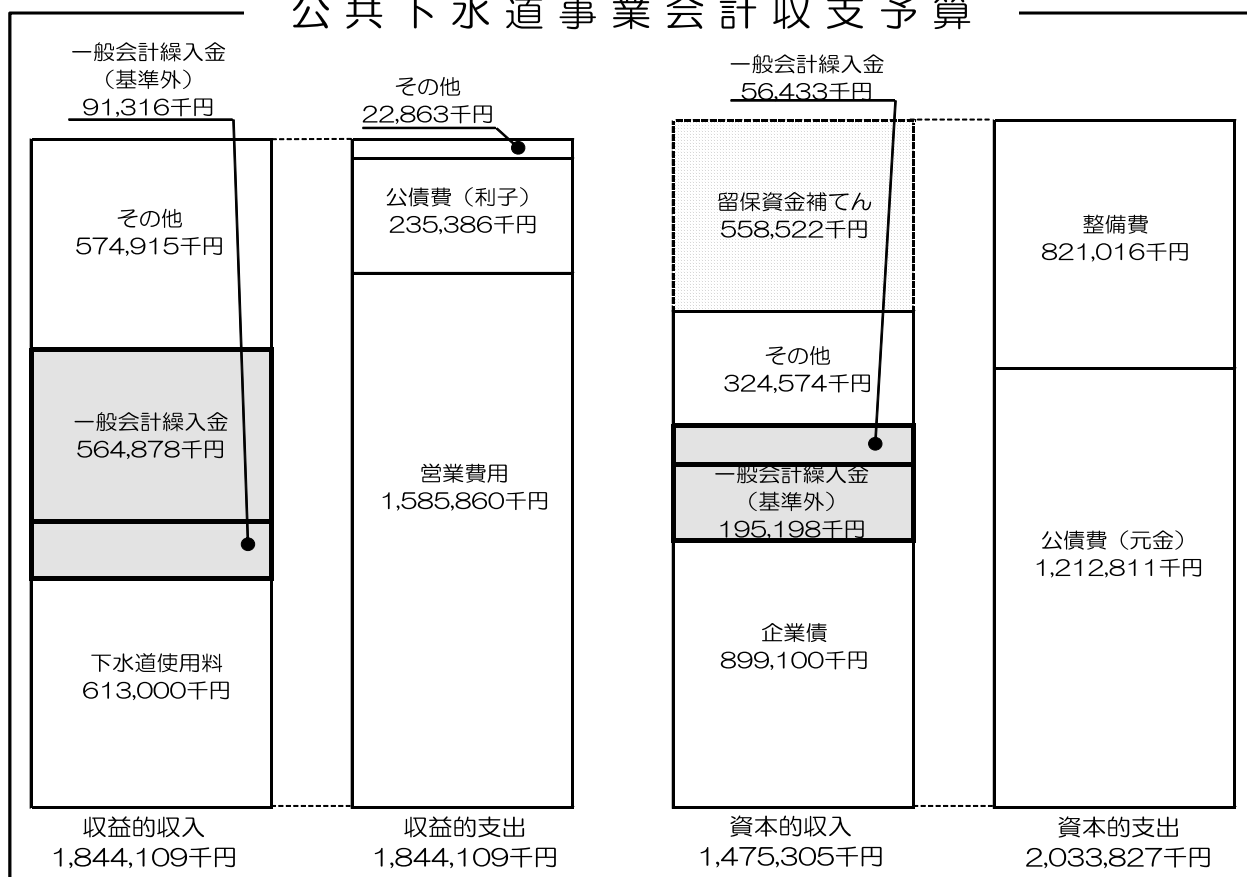
水道事業会計収支予算



工業用水道事業会計収支予算



公共下水道事業会計収支予算



資本的収支の支出超過分については、過年度及び当該年度留保資金で補てんしています。
 一般会計繰入金については、国の定める基準に基づく『基準内繰出金』と『基準外繰出金』があり、病院事業会計・公共下水道事業会計においては基準外の繰出金が発生しております。『基準外繰出金』については、病院事業会計において、旧病院の解体に係る費用、公共下水道事業会計においては、収支差額分を繰出しています。
 公営企業会計への繰出金については、会計の収支状況及び収入増の取組みを検討しながら適正に支出していきます。

わたしたち笠間市民のねがい —笠間市民憲章—

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切に、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

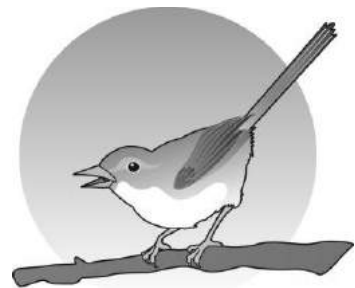
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

平成31年度「わかりやすいかさまの予算」

平成31年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

秋遊

